

第4回 鳥取市市民自治推進委員会 議事概要

1 日 時 平成27年11月12日(木) 15:00～17:05

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 4階第2会議室

3 出席者

(1) 委 員 福島委員長、佐々木副委員長、佐藤委員、下澤委員、吉岡委員、高濱委員、有田委員、景下委員、平尾委員(順不同) 委員出席者9名

(2) 鳥取市 馬場協働推進課長、岡本協働推進課課長補佐、西尾協働推進課係長、岡田協働推進課主任、田中協働推進課主事

(3) 傍聴者 なし

(事務局)

第4回鳥取市自治推進委員会を開会するにあたり、出席委員が8名で、委員数10名の過半数に達しているため、本委員会は成立していることを報告する。

市民活動表彰被表彰者の選考審査については、遅れて出席される委員さんが来られてからとし、初めに「鳥取市協働のまちづくりガイドラインの策定」および「地区公民館の活用の基本方針の策定について」の説明を事務局からさせていただきたい。

4 議事

(1) 協議事項

鳥取市協働のまちづくりガイドラインの策定および地区公民館の活用の基本方針の策定について

《事務局説明》

(委員長)

市では行財政改革のあり方について大綱というものを決められていて、第6次鳥取市行財政改革大綱の中で、市民との協働のもとで信頼される都市経営を推進していこうということを大きな市の施策の柱にしている。その中で、引き続き「参画と協働のまちづくりの推進」ということも大きな施策方向として進められていて、資料等によって紹介されたところである。いろいろ社会的な変化もあり、協働のまちづくりのガイドラインの見直し等を含めて作成していく、あるいは、鳥取市の地区公民館にまちづくり協議会の事務局が設けられて、従来の地区公民館の機能の在り方とはニーズが変わってきているのではないかといったことから、地区公民館の活用の在り方の基本的な考え方等を含めて、平成28年度中に作り上げたいということである。

策定の考え方、あるいは背景、課題等々を説明していただいたが、これについて皆さんから確認やお尋ねがあればご意見をいただきたいと思う。かなり広範な課題にあたると思うが、いかがか。

(委員)

私もまちづくり協議会の立ち上げのときからずっと関わってきて6年になる。現在のまち協の問題点など、いろいろな問題が出てきていると思う。地区公民館をどうするかということもあるし、まち協の活動をどうするかということもある。また、社会的にはややこしい役をしたくないと言って、要は協働したくない、何もしたくないという人が増えている。そういう人たちをどうやって協働の中に持っていくかという見えざる手を使って自主的にやっていかないと、どうしてもお膳立てしているいろいろなものを作って口のところまで持って行って、食べてくださいというやり方をしないと動かない鳥取市である。その意識改革を含めてやっていく方法が何かないかとずっと悩んでいる現状である。

もう一つ、鳥取市マスタープランの中で、コンパクトシティ構想というのが入っているが、その中で地区公民館の役割がかなり出てくるのではないかと思う。コンパクトにやって、その地域の中心になるものが地区公民館という形であって、ここに書かれているものよりももっと広範にいろいろな業務をやっていかななくてはいけないというようになると思う。だから、そういうことも含めてマスタープランもリンクしていかないと、こちらはこちらで、マスタープランはマスタープランでやるということではうまく発展しないのではないかというのが感想である。

(委員)

教育委員会と協働推進課の2つにまたがるので、地区公民館に辞令が2つ出されるという話を聞いたが、まだ続いているのか。

(事務局)

地区公民館は、社会教育施設であり社会教育施設の職員については教育委員会が任命することになっているので、地区公民館職員としての辞令は教育委員会名で出す。ただ、鳥取市の場合は、協働のまちづくり推進員という役もお願いしているので、協働のまちづくり推進員としての辞令は深澤市長で出していて、2つは必ず皆さんにお届けしている。

(委員)

指示命令系統がどうかという話もあるので、市庁部局に移るのであれば、早く移して一本化していかないといけないと思う。これは6年ずっと続いている。

(事務局)

指揮命令系統についても検討の中に入れないといけないとは思っている。他市では、コミュニティセンターという形で、市庁部局で一括所管するということもあれば、いろいろな状況があるので、もう少し調べなければいけないと思っている。これからアンケートをしなければいけないと思っていて、アンケート内容についても、また示させていただく予定にしているが、もう少し詰めてからそのあたりのこともお話をさせていただきたい。

(委員)

地区公民館長の任命について、推薦は自治会長がやっているが、地区公民館長の仕事の時間が非常に短く、市からあまりたくさんお金をもらっていないという実態である。地区公民館長

は名誉職ではないと思う。時代も変わって、自治会長も名誉職ではなく、お世話係である。そのように変わってきているので、地区公民館長はもっと強化して、きっちり給料を払ってやっていかないと中途半端な感じになっているような気がしている。

(事務局)

ありがとうございます。私たちも実はそう思っている。

(委員長)

今の話も課題の一つということで事務局に検討を進めていただきたいと思う。来年度中にまとめをとということだが、策定ができたからどうだということではなく、中間段階でも中間報告的にこの委員会に反映させて、この委員会の委員の皆さんのご意見もいただいて、必要があれば取り入れる機会というのは設けてもらえるのか。

(事務局)

その予定にしている、その都度、必要に応じて皆さんのご意見を伺いながら作成していきたいと考えている。

(委員長)

それでは、委員の皆さんがお揃いなので、協議事項の一番目にある市民活動表彰の選考にいききたいと思う。

一つお諮りするが、この審査については、鳥取市の審議会等の公開実施要領に基づき、鳥取市情報公開条例第7条第7項及び第8項により、原則非公開ということにしているの、これからの審査についてもそのように進めさせていただいてよろしいか。

では、非公開ということで進めさせていただく。それでは、事務局で資料の説明をお願いします。

(事務局)

審査の内容について説明させていただく。まず、適当不適當のいずれかを選択していただき、委員長以外の出席員の適当が過半数の場合、推薦を決定することとしたいと思う。本日の出席委員は9名なので、委員長を除く出席委員は8名となる。その過半数は5人ということになるので、5人以上の委員が市民活動表彰者として推薦が適当と判断された場合に、対象者の推薦を市長に対して行いたいと思う。ただし適当と不適當が4名ずつの同数だった場合は、委員長を含む過半数によって決定したいと思うので、よろしくお願ひしたい。

市民活動表彰被表彰者の選考審査について

《鳥取市市民活動表彰要綱及び市民活動選考基準に基づき、推薦のあった人(団体)の審査を行う。》

【候補者(団体)】

- 1 徳橋 勝治
- 2 佐治町の文化遺産を大切に作る会(熊野会) 代表者 池本孝司

- 3 星見 邦彦
- 4 渡辺 喜代志
- 5 浜出 清美
- 6 ふしぎなポケット 代表者 谷本由美子
- 7 湖山池応援団 代表者 山本 實

審査結果については、後日、市公式ウェブサイトに掲載します。

(委員長)

それでは、最後の議題である「参画と協働のまちづくりフォーラムについて」事務局から説明をお願いします。

参画と協働のまちづくりフォーラムについて

《事務局説明》

(委員長)

フォーラムについては、今年は単独開催の予算がつかなかったが、来年度は単独で是非やろうということで、5月の当委員会において、委員の皆さんのご了解を得ているところである。今まで鳥取市の中心部、あるいは東部、南部、そして西部で開催して一巡したので、来年度は旧鳥取市を中心に開催してみようということである。今後のスケジュールについては、予算が認められなければ具体的な内容の検討に入れないが、特にこの場でご意見を聞きたいのは、フォーラムを開催するにあたって、どういう内容を盛り込んだらよいかということである。フォーラムの構成内容等は、スケジュールにあるようにもっと先のことになると思うが、ご意見を聞かせていただけたらと思う。

検討項目に挙がっているワールドカフェ形式の意見交換というのはどういうイメージになるのか。テーマごとに行うのか。

(事務局)

10人も満たないような少人数になるうかと思うが、同じ一つの事についてグループごとに話し合い、何グループかある中を何人かずつ隣のグループに移っていただく。人が変わった状態でまたその事について意見交換をしていくが、人が変われば出てくる内容も違ってくるので、もともとのテーマが一つであれば、少人数での話し合いでも、グループが変わることによって全体の意見として聞くことができるという形のものだと考えている。

(委員長)

大体イメージは分かった。他に意見があればどうぞ。

(委員)

費用はどれぐらいを予定されているのか。それによって呼んでくる人も変わるだろうと思う。

(事務局)

これまでの費用は、少ない時で30万円ぐらい、多くても45万円ぐらいで、来年度は大体40万円ぐらいになるかと思う。

(委員長)

この構成内容で、多少予算要求の経費に影響を与えるので、こういったことを重点的に取り組んでいったらいいのか。

(委員)

案の中に「分科会」というのがあるが、分科会だと、今の開催候補施設ではそういう部屋を取るのは無理ではないのか。

(事務局)

たくさん収容できるところだけを挙げさせていただいているが、他にも会議室などで何部屋があるので、そういうところで開催は可能だと思う。

(事務局)

平成26年度に鹿野で開催したときは、いろいろなところとイベントが重なったり、天候が悪かったりして思ったより参加される方が少なかった。婦人会の研修会などでも、分科会で意見を言ってくれというような研修会は、会員さんが出るのを嫌がる。参加されればもちろん意見を言われるが、「そんな会なら参加しない」と言われる。市民の方を対象にされるのなら、意見を持って出られる方もあると思うが、講演を聞きに行ってみようかというような方が多いときには、参加者がぐっと減るんじゃないかという心配もある。

(事務局)

確かに分科会という言葉だけでも、個人的には構えてしまう部分もあるので、もっと気軽においでいただきたい。先ほどのワールドカフェ形式であれば、意見としては出しやすいのではないかと思うが、まずは参加していただかないと実施できないので、その辺が心配されるころではある。

(委員)

先に構成を決めてから会場を決めるのか、会場を決めてから構成を決めるのかというところがあるが、資料にある会場であれば、階を変えて分科会やワールドカフェ形式をやるという形になると思う。本来の主旨とは離れるかもしれないが、第一目的としてたくさんの方の動員を図りたいのであれば、例えば太鼓やよさこいといったアトラクションで子どもさんたちに参加してもらえば、保護者がついて来られる。おじいさんおばあさんも来たいとなるので、子どもさんがたくさん出られるアトラクションと魅力ある講演を二つの柱にして、あとはパネルディスカッションもいいかと思う。分科会というのは敷居が高くなるのが懸念されると個人的には思う。

(委員)

「協働意識の向上を図る」というのが目的になっているが、今、「協働」から逃げている人がいっぱいいるので、そういう人たちにどのように意識付けするかということで非常に悩んでいる。ただ場所については、車が停めやすいところがいいと思う。近いというよりも、たくさん車が止められるところがいい。

子どもさんが参加したら保護者もついてくるという意見があったが、自分の子どもが出ている時だけで、あとは帰る人がいる。その辺をどう引き止めるかということも考えないといけない。子どもの出番が終わったら、すーっと人が引いてしまうのは、いつも経験していることなので、アトラクションで人集めはいいが、協働意識の向上をどうすればいいのかは、私にも結論が出ない。

(委員)

全体的なテーマを決めないと中身は出てこないと思う。まず会場を決めて、中身を決めて、それからテーマという順番ではなく、どういうテーマで、何を誰に対して訴えたいのかということを決める。それから、そのことを効果的に行うにはどういうアトラクションが適切か、分科会がいいのかパネルディスカッションがいいのかということを考えていかないといけないと思う。どういう人に何を訴えたいのかというテーマをまず決めたほうが、整理しやすいと思う。また、車を止められるところというのは、重要な要素だと思う。

(委員)

「協働意識の向上」ではないか。

(委員)

たぶん、「協働意識の向上」というテーマで行うと、あまり人が集まらないと思う。もう少し魅力的で、敷居は低いけど、最終的にはそちらに向かっているような何か良いテーマを見つけたほうがいいと思う。

(委員)

全くその通りだと思う。協働意識がもともとある人なら、こういうのがあるから行ってみようという人もいると思うけど、そういう意識もなく、「協働」という言葉さえも知らず、もちろん活動もされない市民の方々は多いと思う。そういう人たちに「来てください」と言っても、どのように足を運んでいただくかが難しい。アトラクションで呼ぶというのは、本末転倒のような気がする。本当の意味で「協働」すれば、市役所も助かるし、市民もやる気を出す。本当に良い鳥取市になるんだということが描ければ、それが実行できるように会を持っていくことができる。また、それをアピールするような題材の講演などができればいいと思うけど、そこが難しい。では、具体的にそれは何だと言われたら、これだというものが出てこない。講演料も高いので、有名なタレントを呼ぶから来てくださいといった客寄せパンダみたいなこともなかなかできないだろうと思う。

(委員長)

今までパネルディスカッションで取り上げられたテーマは、分野が非常に多岐にわたっていた。災害防止の活動をされている方とか、地域の特産品の開発に取り組まれている方とか、新しいまちづくりのために地域資源を活用した異分野同士の代表者をパネラーに選んでやってき

た。今は、地区公民館単位の地区ごとにまちづくり協議会を設立して、大方の協議会さんで具体的なテーマを既に実行に移されている。そういったことを考えてみると、次回はコミュニティのテーマを絞って明確にしたほうが、参加者もはっきりしているのではないかと思う。来年度は旧鳥取市に場所を移すので、例えば中心市街地の活性化、あるいは子どもの育成のための活動といったようなテーマにある程度絞って、そのような活動をされている方々をパネラーで呼びして、会場に集まった方達とそのことの推進に向けて意見交換する。自分たちができることは、地域の皆さんと参画し、コミュニティの中で活動していかななくてはいけないという機運を盛り上げることで、そういうステージにしなくてはいけないと思っている。3つ、4つ分科会を設けても、過去の経験で見ると、市民の皆さんがそこまでの人数で参画していただけるのは難しい。パネルディスカッションを南部地区で開催したときは、会場の皆さんからずいぶん質問や意見が出て、大変熱気を感じた。そういうこともあったので、次回はパネルディスカッションのテーマを絞ったらどうだろうと思っている。

また、おっしゃられたようにアトラクションも大事である。地域のアトラクションを行うことで関係者の皆様に集まっていただけるし、地域の特産品をバザーで販売することで、より関心を持って集まっていただけるので、是非組み込んでいただきたいと思う。

場所についても、来年度に向けていくつか候補があるが、確かに駐車場のスペースも判断して場所を確保する必要があると思う。ただ、あまり収容人数が多いところだと集まりぐあいで空白が多くなってもいけないように思う。スタート当初は、市の中心部で掘り起しをやるということで、解放センターでは約300名の参加者があり、東部地区では国府町の中央公民館をお借りして250名の参加者で、会場にそこそこの満杯感があったように思う。市民会館で開催した時もあるが、そのときは200名ぐらいだったが会場の収容人数から見るとちょっと空白感があって寂しい印象に感じられた。ただ、市民活動フェスタは、駅南のさざんか会館で開催していて、ディスカッションを行うようなステージもあるが、地域活動やテーマコミュニティに取りくまれている団体が各ブースに出展されており、団体間の交流やバザーもあって、大変集客人数が多かった。ただ、さざんか会館の一番上の大会議室は、200人余りなので、市民会館や文化ホールの収容人数から見ると、恐らく来ていただける市民の皆さんとの兼ね合いで空白感が出るのではないかと思っている。来場者の収容能力からいって、あまり空白が出て寂しい気がするし、駐車場の確保の面からさざんか会館か人権交流プラザあたりがいいのではないかと思う。

(委員)

さきほど自治会に入る入らないという話があったが、たぶん、縁もゆかりもなく鳥取にやってきた人は自治会に入らないと思う。むしろ自治会活動を積極的にやっている人と最近転入してきた全く感心のない人を3人ぐらいずつ選んで、その人にパネルディスカッションで戦わせてはどうか。自治会に入るメリットは何なのかということや、何で入りたくないのかということとを明らかにして、接近させるというやり方もやってみたら面白いと思う。ただ、新しく来た人をどうやって掘り起こして参加させるかということがあり、人の選別がすごく難しいのではないかということが懸念されるが、やってみたら面白いとは思っている。うまく成功すればその自治会の加入率を上げることもつながるかもしれないが、失敗すると加入率が下がるという恐れもあるので、ちょっと危険ではあるが、面白味という点では面白いと思う。

(委員長)

会場の皆さんとの意見交換もあっていいだろうが、例えば鳥取大学の学生や女性の皆さん、あるいは若者会議のメンバーといった中から数名に登壇していただき、パネラーとまさにディスカッションをするのも面白いかもしれない。

（委員）

今の意見はすごくいいと思う。市民の中にはIターン、Jターン、Uターンといったいろいろな形で鳥取にお住まいの方がいるので、そういう方にお一人でもパネラーの中に入れていただくと、より多様な意見が出るように感じた。

（委員長）

今までフォーラムに参加されたパネラーの中にも、地域資源の掘り起こしで特産品の開発や、海外への輸出までされている方もあった。県外から地元でIターンやJターン、Uターンされた方が鳥取に定着して、そういう活動を担われている方が結構いらっしゃる。そういう意味では地域活動の在り方もIターンの方のほうが真剣に見られているのではないかと、あるいは地域の光そのものの掘り起こしや発見が明確にされており、テーマを持って取り組まれているのではないかと印象を受けた。地元の方からは、誰かがやってくれという期待感はあるが、なかなか動いていないという印象を受ける。今の提案は面白いと思う。

予算が確定してから具体的なフォーラムの内容を詰めていき、意見を伺うというような内容になる。

（委員長）

その他、次回の日程等も含めて、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

平成27年度の活動計画として、4回目以降に「協働のまちづくりガイドラインの策定」や「地区公民館の活用基本方針の策定」を入れさせていただいた。内容が漏れていたのは大変申し訳ないが、5回、6回についても、この件について皆さんに協議していただきたいと思っている。活動計画には、次回の開催時期を「1月」と載せているが、1月下旬から2月上旬ぐらいで予定させていただきたい。この委員会は、過半数を超えないと成立しないので、皆さんに日程をお尋ねしながら調整させていただきたい。

（委員長）

次回は1月下旬ないしは2月ということをお願いしたい。いずれにしても事務局から委員の皆さんに日程調整させていただくので、よろしく願います。

以上で、第4回市民自治推進委員会を閉会する。どうもありがとうございました。

5 閉会 17:05